

しんおんせん

議会だより



赤勝て、白勝て ファイト! (浜坂西小学校)

一般質問 10人が質問

西脇 明 中村経逸 谷田一富 小林一義
中井次郎 植田光隆 西村銀三 西村公子
宮本泰男 谷口 功

P10~19

21年度 一般会計・特別会計決算認定

P2~8

22年度 補正予算

P20

みんなの広場

井土ボランティア ふれあいの会

P26

委員会報告

総務教育常任委員会
産業建設常任委員会
環境福祉常任委員会 P22~24

採決一覧表

P25

しんおんせん議会だよりは、四季折々の色で印刷しております。今回はもみじのオレンジです。

21年度 決算認定

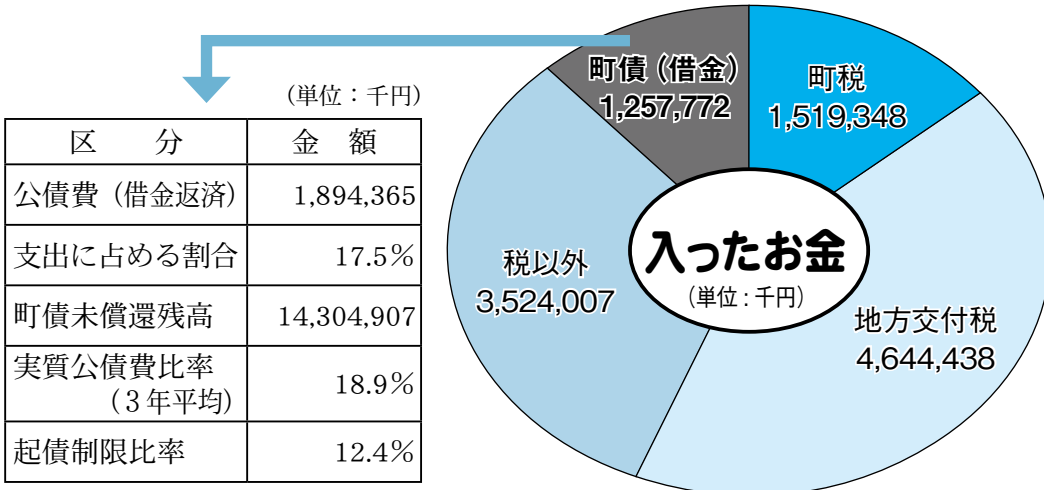
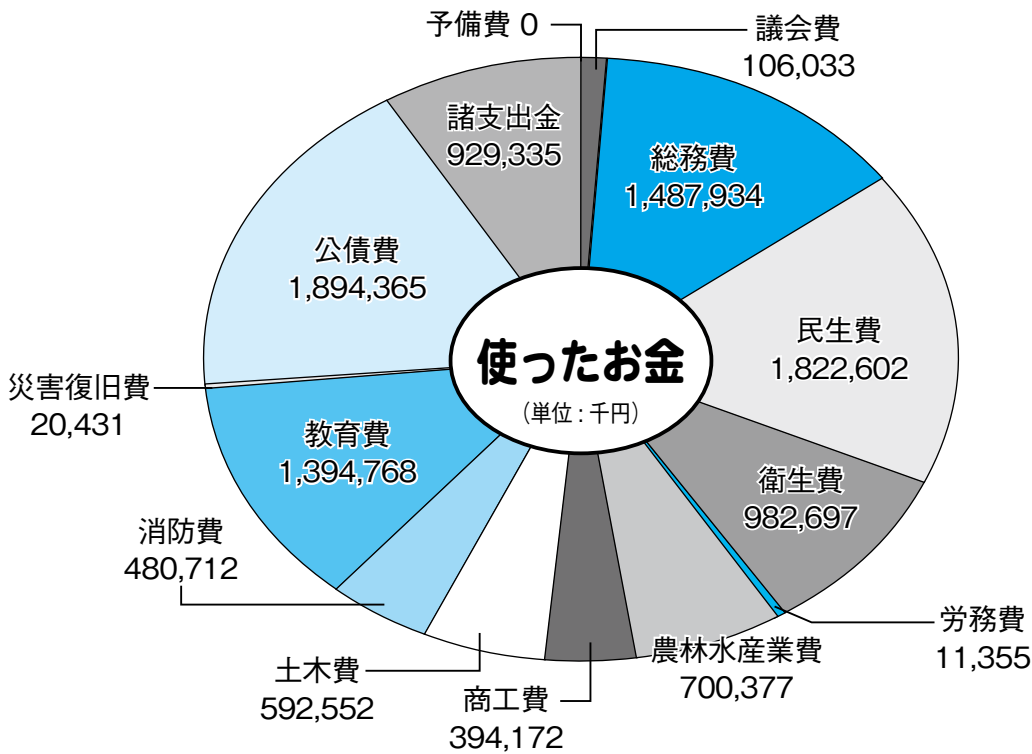
賛成 11
 反対 3
 欠席 1

第34回（平成22年9月）定例会が9月7日に招集され、28日まで22日間の会期で開催しました。

町長から条例案3件、事件案3件、人事案1件、平成22年度補正予算案10件、平成21年度決算認定12件が提出されました。

平成21年度決算認定は、決算特別委員会を設置し、議長を除く15名の委員で3日間審議しました。

一般質問は、9月7日・8日に行われ、10名の議員が町政全般について質問しました。



(単位：千円)

| 区分 | 金額 |
|---------------|------------|
| 公債費(借金返済) | 1,894,365 |
| 支出に占める割合 | 17.5% |
| 町債未償還残高 | 14,304,907 |
| 実質公債費比率(3年平均) | 18.9% |
| 起債制限比率 | 12.4% |

一般会計決算

21年度 一般会計決算認定 決算特別委員会

歳出の質疑

予備費

問 予備費の執行が多いが適切か。
答 最小限の急を要する支出に対し法の範囲内で予算化し執行している。

自治連合会補助金

問 自治連合会補助金の使い道は。
答 活動助成として研修費等に支出している。

但馬広域行政

問 但馬広域事務組合基金の使途目的は。
答 利息を毎年の運営資金に当てている。
問 30億円もの基金は過大では。
答 但馬全体の広域事業（年間1億円）に充

てている。当町では但馬牧場公園まつりである。

問 但馬広域事業は住民の要求によるものか。県の方針に沿う事業ではないか。
答 雇用拡大を含む但馬の活性化のための事業展開であり県主導ではない。

山陰線複線電化

問 JR複線電化団体の実態は。
答 山陰に至る関係路線の近代化、高速化への要望活動を行っている。

問 JRへの要望が形式化していないか。
答 世界ジオパーク認定等毎年材料を変え、要望を続けている。

職員研修

問 職員研修への事業執行が少ないのでは。
答 昨年度の研修人数は36人。育成計画に基

づき今後も実施する。

ゆめぐりエクスプレスバス運行

問 利用率の低いゆめぐりエクスプレスの目的と方向性は。
答 観光客の足として路線認可を受けた。現在は通院バスとしての利用が主。日交バス1社で日3往復半の運行。ジオパークを見据え鳥取空港経由を含め

アクセス向上を図りたい。

徴税

問 税滞納者への処分措置基準は。
答 納期限2週間後を目途に催告。応じない場合、資産、財産調査の上、差押さえに及ぶケースもある。

問 一律に処分か。悪質性をどう見ている。
答 生活状況を見なが



但馬広域事業「たじま牛まつり」

らの対応。機械的にいきなりの処分はしない。

問 住民税の給与天引き事業所数と未実施団体への対応は。
答 約500事業所の7割が給与天引きである。天引きのない団体については訪問・勧誘等で促進する。

問 滞納税の不能欠損処理への対応は。
答 不能欠損処理の指導は受けてはいるがむやみにすべきでない。ルールをもって執行処理する。

問 競売による欠損処理は。
答 回収不能分は期限を待たず処理している。

所在不明高齢者

問 所在不明高齢者の発見と対策は。
答 町内100歳以上は11名。すべて確認済み。不明原因は主に届出がされない場合である。

選挙・投票所

- 問** 秘密が守れる投票所のあり方は。
- 答** 一層の秘密性確保とバリアフリー化を検討している。新たな投票所確保は困難。
- 問** 選挙報償費は誰に支払われるか。
- 答** 投票所の管理者、開票事務（役場職員）に対する手当である。

統計調査

- 問** 統計調査の分析とデータ提示は。
- 答** 町統計要覧に反映されている。
- 問** 調査結果が次年度予算に反映されているかが重要だが。
- 答** 調査結果と時間差が生ずるが総合的に生かしていききたい。

福祉事業

- 問** 社会福祉協議会と町との関係及び必要性は。

答 公共性の高い社会福祉全般の事業を社協に委託。町にできないものの補完としての位置付けである。

隣保館事業

- 問** すでに法的根拠がなくなった事業。いつまで続けるつもりか。

答 近隣住民の交流生活向上が目的であった。現在はコミュニケーション事業（人権啓発）が主である。

平和祈念式典

- 問** 戦没者追悼と恒久平和式典の同時開催は適当か。
- 答** 戦没者遺族の減少も見られるが恒久平和にも力を入れたい。戦没者への慰霊と恒久平和は一体である。

障害者福祉

- 問** 障害者自立支援は単なる支援でなく行政が取り組むべきでは。
- 答** いわつばめ、いずみ、のぎくもあり一つに考えていかなければならない。
- 問** 障害者が一人の間として暮らせる視点についての質問である。
- 答** わけ隔てなく生活できることが必要。今後協議を進める。

特養ゆむら補助金

- 問** H22年度の補助金執行は。
- 答** 申請はあるが執行していない。

問 補助金とはいえ特養再建時の公益性を優先した債務負担。一方的に約束を反故できるか。

- 答** 3ヶ月以内の猶予をおき適切な結論を出したい。

認定こども園

- 問** 認定こども園にした評価は。
- 答** 福祉と教育を考慮しなくてはならないが、保護者の意向に沿う形になった。
- 問** 臨時職員が多すぎるのは。
- 答** バランスを是正していきたい。
- 問** 施設は古く狭いが改築は。
- 答** 過疎計画で考えている。
- 問** 早期の改築が必要。
- 答** 素案ができれば相談したい。
- 問** こども園とゆめっ子との職員数の差は。



恒久平和を入れたい力



熊捕獲用のおり

問 基準内の配置であり、こどもの年齢や支援の関係である。
問 職員の人事交流を図るべきだ。
答 積極的におこない、より良い保育を指したい。

生活関連

問 まちぐるみ検診の精度をあげるべきだ。
答 精度は良いが甘んばりではない。
問 生ゴミ処理機への取り組みは。
答 助成制度は廃止し、区切りをつけた。

問 発砲スチロールの回収ができていない。
答 受け入れはしているが、改めてする計画は無い。
問 現状を調査せよ。
答 審議会等で意見を聞きながら検討してみる。

問 水質検査の結果公表は。
答 各河川で実施しているが、異常がなければ公表していない。
問 検査結果を生かす事業になっていない。
答 今後は公表していく。

農林水産関連

問 クマ対策が軽すぎるのではないか。
答 県の保護計画があり、その基準に沿っての対応しかできない。
問 イノシシの被害は。
答 全体把握が難しい。捕獲が中心だが、迅速な対応をしている。

問 たい。
問 牧場公園の牛を優秀なものにする努力が必要では。
答 県の備品だが要望していきたい。

問 特色ある我が町の農業とは何か。
答 水稲が中心である。
問 農業被害は高齢者の生きがいを奪っている。
答 国・県の対応がそこまでいっていない。

問 集落の機能を守るために町は指導をすべき。
答 継続できるように指導していきたい。
問 岸田川のアユ・サクラマスに上流部の農業が影響を与えていないか。
答 関係機関と協議してみたい。

問 ミズナラの赤枯れの調査は。
答 調査はしたが取りまとめは出来ていない。

問 スワイガニ・ホテルイカの商品開発は。
答 色々な機関と協議していく予定になっている。

問 外国人漁業研修生は何年目か。
答 4年目で、来年度から実習となるため町の対応は終わる。
問 研修生へのカウンセリング等の対応はしたのか。
答 地域との交流をふくめてしている。

観光関連

問 湯地区のライトアップは桜の季節だけにしては。
答 防犯の意味もあるが、今後検討してみたい。
問 リフレッシュ館の工事設計費は町負担か。
答 町費である。

浜坂道路

問 地域高規格道路はどのような経過で盛土工法になったか。

答 県が事業主体であり、盛土工法を推進している。

問 地域の高架工法の要望に不合理なものはないか。

答 地域の要望は逐一県に要望している。

問 この道路は新温泉町にどのようなメリットがあるのか。



浜坂道路 浜坂東地区インター付近

答 R178のバイパス機能、観光客を呼び込むのにも有利である。また将来を見ずえた場合、どうしても必要である。

問 お金が多くかかろうとも、工事が延期されても、地元の意向を反映するよう努力をすべきだ。

答 ルートについては地元の意見を聞き決定している。工法については地元の意見を尊重し、県との話し合いをしている最中である。

県営住宅

問 新温泉町の県営住宅の現状は。

答 浜坂38戸で空き家は4戸、温泉24戸で空き家は7戸である。入居募集は停止しており、今後は廃止の方向である。

問 低所得者への住宅対策として払い下げてもらい、住宅確保をしては。



新規入居を停止した県営住宅

答 県へ継続していたであろうお願いしている。

土木関連

問 発注されていない土木工事が19件もあるが。

答 70%は発注している。浜坂地区はほとんどできてきている。温泉地区は舗装工事中心だが早期発注に心がけている。

問 職員数が足りなくてできないのか。

答 職員の配置については今後検討している。

問 街路灯が老朽化している。予算付けをすべきだ。

答 補助金を含め対応を検討したい。

防災関連

問 防災放送で誤報が続いたが、住民の納得できる内容ではないか。

答 発生地が湯村の住宅密集地であり、早く知らせることが大切であった。一刻も早く知らせたいとの思いでの放送であり理解願いたい。

問 この夏の集中豪雨でR178が浸水したが、浸水しない工事はできないのか。

答 JRと国道の間に排水路を作っている。冠水対策には危惧している。

一般会計決算

問 水防訓練を消防団員はしているが住民はしていない。避難場所の安全性をふくめ住民に実施すべきだ。

答 避難する方法を周知し、平素から災害に備える心構えが大切である。

教育関連

問 日本スポーツ振興センターとは。

答 保険センターであり、掛け金の半分を町が負担している。

問 温泉小学校の運動会で駐車場が少ない。

答 夢公社と交渉したい。

問 温泉小学校付近の歩道を整備すべきだ。

答 安全確保の可能な対策を国・県にお願いしている。出合橋の横に歩道を設置する等。

問 各種大会派遣補助金は全額にすべきだ。

答 要綱で決まっている。県大会以上は別枠

で対応する場合もある。差ではない。

問 公民館費は浜坂と温泉に差がある。平準化すべきだ。

答 公民館を温泉の旧小学校区にも設置する考えは持っているが、温泉地区にはそぐわないとの要望があった。形態のちがいで職員を2名配置しているので

問 差ではない。運動会の練習で登校しているのに給食がなかった。臨機応変に対応すべきだ。

答 今後、考えてみる。

問 給食センターの本化について具体的な議論をしているのか。

答 行革もあり、24年統合にむけて検討している。

問 図書館の有効活用ができていくか。

答 いかにも本に親しむかなど町民利用を広めたい。

問 八田コミセンを廃止してはどうか。

答 検討する。

問 区別をきっちりすべきだ。

答 確認しバランスよく対応したい。

問 資源物の受け入れ方法は。

答 年2回の入札で引き取り単価を決定している。

問 C A T Vのホームターミナルのその後は。

答 告知端末の交換は本年度中に全て完了する。

問 町民バスの方向性は。

答 減便の方向であり、町民タクシーと活用の調整をしている。

問 夢公社の配当金の検討は。

答 決算状況をみて配当している。

問 夢公社は株式会社としての特長をだす経営を。

答 20年間、同じ経営体型だが、これ以上難しい。新しいメニュー等を考えている。



公民館は浜坂と温泉に差があるか？

歳入の質疑

問 「すこやか」に1の経費負担は社会福祉協議会もあるのか。

答 目的外使用の許可をだしており、一部はいただいている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 区別をきっちりすべきだ。

答 確認しバランスよく対応したい。

問 資源物の受け入れ方法は。

答 年2回の入札で引き取り単価を決定している。

問 C A T Vのホームターミナルのその後は。

答 告知端末の交換は本年度中に全て完了する。

問 町民バスの方向性は。

答 減便の方向であり、町民タクシーと活用の調整をしている。

問 夢公社の配当金の検討は。

答 決算状況をみて配当している。

問 夢公社は株式会社としての特長をだす経営を。

答 20年間、同じ経営体型だが、これ以上難しい。新しいメニュー等を考えている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

問 歳入の計上は。雑入で受け入れている。

総括の質疑

- 問** 温泉高校の跡地利用は。
- 答** 現在、申し込みは無いがPRしていきたい。
- 問** アスベストが使われているのでは。
- 答** 県は大丈夫と言っているが確認したい。
- 問** 不動産の売り払いができていないのでは。
- 答** 8件で約700万円円の売却があったが、適正な価格を重視せざるを得ない。
- 問** 霧滝溪谷の管理ができていない。
- 答** 看板・駐車場等を確認したい。
- 問** 21年度の後半5ヶ月を担当した岡本町長の感想は。
- 答** 限定された条件のなかで一定の努力はした。
- 問** 緊急経済対策は住民の暮らしの安定に結びつかなかったのでは。
- 答** 生活に密着したものを優先的に取り組んだが、あの程度では本格的な対策にはならない。
- 問** 北但広域ゴミの引継ぎは。
- 答** 限られた条件のなかでは、やむを得ない対応だ。
- 問** 認定こども園は窮屈すぎる。見通しが無い。
- 答** 長期的な視野にたって対応したい。
- 問** 国の方針の職員給料について、町の考え方は。
- 答** 国の方針についてはコメントできない。
- 問** 官民格差が大きすぎる。ことへの対応は。
- 答** 人事院勧告を重視する。
- 問** 補助金の見直しは。
- 答** している。今後もしたい。
- 問** 財政力指数の数値

目標は。

答 実現性のあるものにした。

反対討論

地方交付税及び臨時財政対策債は前年度比約3億5千万円も増え、20年度末の臨時交付金等定額給付金も合わせ約10億円もの予想外のバラマキがなされた。

しかし、このお金は、住民の苦難を救うために生かしていません。

一方、ケーブルテレビ事業予算、6保育所・幼稚園の統廃合、福祉医療費の住民負担引き上げ、強引な温泉地域の小学校統廃合、南北自由通路を含む中心市街地活性化計画など予算化されました

が、しかし多くは住民不在の予算執行の決算であり認定することができません。

(賛成11、反対2、可決)



条例改正



湯区の事務所が入っている新薬師湯

条例改正

非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

説明 財産区の職員を町の嘱託員とする

問 財産区の管理費はどこから出ているのか。

答 財産区会計から。新聞では湯区のみ

80%が反対しているとあったが、民意を聞くべきでは。

答 湯区の自治権に介入したことは無い。

問 湯区に任せてはどうか。

答 湯区のイベント等に口出したことは無い。

問 湯区より80%の反対署名の要望について、どう感じるか。

答 署名は自治権介入となっていたが事実はない。

問 何が不満で署名が出たのか。

答 法律に準拠した執行に対する反発である。

問 説明不足ではないか。

答 町長就任以来、話し合いをもってきた。

問 職務の新体制の変更は。

答 区長への事務任用がなくなった。今後は支所長を中心に嘱託員

があたる。

問 職員は湯区の仕事もするのか。

答 区の事務には公金を使用できない。

問 職員の任用は公募か。

答 専門性があり、町長の一存で決める。

問 今後の調整が必要だ。

答 湯区の事務所はどこか。

答 新薬師湯の一階にあり、使用許可をしている。

問 区と財産区の関係で、話し合いをもつ考えは。

答 就任以来、努力している。

問 湯区長に湯財産区の執行権があったが。

答 区は地縁団体である。財産区は特別地方公共団体であり、執行権は町長にある。

問 地方自治法の理解不足が問題であると把握しているのか。

握しているのか。

答 理解不足は往々にしてあるが、難度の高い説明だと思う。

(可決)

不動産の買い入れ

説明 スクールバスを2台購入するもの1,560万円

問 メーカー・車種を指定しての入札でいいのか。

答 4輪駆動車はこれしかない。

問 2台一度より、多くの業者から購入すべきでは。

答 分けると価格が違う可能性があり、予算の有効使用のためである。

問 町民バスとしての利用もあるが、付属品や車検は。

答 補助金の関係で順次の手続きが必要。車検は町民バスの委託と同じである。

(可決)

不動産の買い入れ

説明 八田診療所に胃力メラを購入する829万5千円

問 現在の使用状況は。

答 現在のものは旧型で、使用していない。今後は週に1回程度、使用していきたい。

問 一日15人の患者数で必要なのか。

答 PRに努めて利用していただく。

問 浜坂病院と連携した方が良いのでは。

答 浜坂病院では一日5〜6件の使用があり、今後は両方で診察する。

問 医師の雇用条件か。

答 望みでもある。

問 浜坂病院の型は。

(可決)

問 湯財産区と行政の関係について

町長 話し合いで解決したい



西脇 明 議員

問 「湯財産区事務事業をめぐり、財産区と町が対立」と新聞報道された。内容は従来財産区事務(管理者町長)の一部を、湯区長に事務委嘱していたが、区長に委嘱しない。町としては法律上、町の仕事である。2度協議したが平行線のままである。最近いろいろなチラシが出ています。湯村の湯を守る同志一同で「湯財産区はこ

の先どうなるか、薬師湯は役場の出先か、10年後の湯村は誰のもの等」全戸へ配布、町と財産区がぎくしゃくし

ているが、話し合いで解決できないか。
 ①従来どおり区長に事務委嘱しないのか。
 ②寄付については町は受け取らないのか。
 ③「自治権介入に対し、断固戦う署名活動」を展開した。署名は届いているのか、湯区との関係をどのように対処しようとしているのか。

町長
 ①財産区は固有の執行機関を持っていないので当然、町長において執行権を持つ補助機関として支所長・職員で事務を行う。
 ②町は寄付を予算計上したが、町の議会が修正案可決。財産区議会で基金の思いで提案したが、否決となった。寄付行為については、期待する側と期待される立場で、お互い理解

予算編成の組み方は

しあう必要がある。
 ③署名は届いていない。自治権介入など極めて不本意な内容である。財産区議会とも十分話し合いをし、ソフトランディングするよう努力する。

問 23年度の我が町の

予算編成の骨格は、全体枠を決めて各課配分方式か。

①町総合計画実施計画が示されているが、この方針が新年度に生かされるのか。
 ②決算審査の意見が新年度予算に反映されるか。
 ③遊休資産処分分で過去4年間計画は3億500万円、実績は6千500万円、21%の達成率で、今後資産処分を如何に考えるか。



早期の処分が待たれる町有資産

町長 95%が経常的経費であり、予算に余裕がなく無駄を省き、積み上げで編成したい。
 ①産業活性化委員会も立ち上げた。重点的施策には手だてをした

い。
 ②意見を十分対応しながら反映したい。
 ③経済環境が厳しいが、年次的に計画をたて処分する。

一般質問

問

JR浜坂駅周辺の道路整備を

町長 事業化で対応しているが困難だ

まちづくり交付金事業

問 国土交通省の助成制度である、まちづくり交付金事業は温泉地区はすでに終えており、浜坂地区についての事業内容と進捗状況は。

町長 ① 浜坂ジオパークセンター完備で平成21年度完了。

② 町のサイン事業で観光拠点などの目的地までの誘導サイン設

置、22年度～23年度予定。

③ 観光ルート設定で町歩きモデルルートとマップ作り、22年度予定。

④ 味原川環境整備事業で散策空間整備等、23年度～25年度予定。

⑤ 浜坂温泉源整備事業で修景整備、24年度～25年度予定。

⑥ 加藤文太郎記念図書館の駐輪場整備事業で21年度に完了。

⑦ 県道浜坂停車場線の整備事業（浜坂駅前商店街歩行スペース明確化）側溝ふたカラー舗装、23年度～24年度予定。

⑧ 町道浜坂西線ほか2路線の消雪工事整備事業で庁舎西側～浜高～浜岡に至る。21年度

～23年度に完了です。

⑨ 浜坂警察署跡地のポケットパークと防火水槽設置事業で24年度～25年度予定。

⑩ 南北自由通路整備事業、浜坂駅付近を考えていたが、諸問題点等から再度見直しを行う。追加でジオパーク館下方へ遊覧船発着場移設を考えている。

問 浜坂駅前南側国道と浜坂駅北側の浜坂港への県道は観光バス等スムーズに乗り入れできない。道路整備が必要。世界ジオパーク認定、近くに広大駐車場があり観光バス等増加する。

町長 大型車では難渋することは認識している。ただジオパーク等は福富橋から西側堤防道路で対応される。しかし、指摘の点は事業化での一定の対応をしているが困難だ。

市街地回遊観光ルートを

問 浜坂地区の町づくりについてドーナツ現象にならないよう市街地に各観光拠点を結ぶ町内回遊観光ルートが必要だ。

町長 回遊性を高めて町を魅力あるものにしていく点は全く同感だ。あじわら小径、駅前道路のカラー舗装等検討している。ジオパーク館、さらには遊覧船と回遊性を将来にわたって高めていきたい。



中村 経逸 議員



急がれるJR軌道敷箇所検討

問 浜坂高校新卒者の職員募集を

町長 一般競争がルールである



谷田 一富 議員

問 地域の宝である子どもたちを、他地域への流出を防ぐためにも、地域の大企業である新温泉町役場での採用を考えてみてはどうか。

町長 若者の流出を抑止する上で大切な事だと思う。職員採用において一般競争がルールであるので浜坂高校だけというわけにいかないと思っっている。

ふるさと納税について

問 となりの香美町では2009年度では854件で2150万円あったと聞いている

が新温泉町はいくらか。

町長 2008年度が27件で192万円、2009年度17件で88万5千円である。

問 これだけの差があるのは何が原因だと考えているのか。

町長 根本的に違うのは寄付者に対して特産品の贈り物をしているということである。ふるさと納税の趣旨から少しおかしいではないかと思っっている。

田中村中線について

問 この工事は総合支所担当の案件と聞いているが、いつ作成された工事図面か。

課長 21年度で作成している。

問 1名の土地収用が

あったと聞いているがいくらであったか。

課長 物件移転補償を含めて3,110万円である。

問 公共工事、公共事業を行うにおいて「公共の用に供する」のが前提であると考えるが。

町長 当然の事だと思っう。

問 「全体の奉仕者」である職員は特定の人に対して利益供与してはいけない。

町長 公務員は「全体の奉仕者」であり法令に基づいて規律されていると思っっている。

問 この工事図面をみると3,110万円で収用した土地に設置されている階段工法は農道に直結している。こ

れは「公共の用に供する」道であると思えるがもう一方の取り合い舗装工は一人の地権者の畑の専用道路のようになっている。この道路は「公共の用に供する」道路だといえるか。

課長 高低差が7.5mあり全体の地理地形の安定を図るため取り合

い舗装工法とした。

問 なぜ、安定し取り合い道路になるのか。安定を図る為ならばいくらでも他の方法があったのではないか。

課長 経費の削減と安全を配慮して全体の安定を図るために採用した。



町道田中村中線

一般質問

問 居組小跡地の利活用は

町長 地元との協議・調整



小林 一義 議員

問 小学校跡地の利活用として地元との協議・調整はどこまで進んでいるのか。

町長 居組は早い段階で地元との協議、調整の中で合意を得たい。

問 合意が出来たら23年度の予算に計上する予定があるのか。

町長 財政と調整して対応して行きたい。

問 居組で検討委員会を立ち上げた。結論が新しい物を建築と決まったら聞き入れてくれるか。

町長 財政的に無理と思われる。

問 耐震化して利活用はどうか。

町長 非常に不可能で、相当大きな財政負担がかかる。住民の安心のためにドクターヘリ基地を芝生化と言った案がある。

問 お金はいくらかかるのか。

町長 取り壊しとヘリポートで約4千万円である。

問 居組区でも色々な意見・希望が出ているが、仮にヘリポートと決まれば、明年に実施するのか。

町長 地元との合意で対応させていきたい。

問 春來・熊谷小、また奥八田・八田小の跡地も地元と協議・検討

しているのか。

町長 協議はしている。

問 春來の職員住宅はどう対応するのか。

町長 校舎と同時に壊したい。

問 熊谷小はどうか。

町長 新しいので利活用したい。

問 障害児の特別支援学校やミニデイ福祉施設の活用で地域活性化を図るべきだ。

町長 同じような事も考えている。また各区とも公民館活動の拠点とし活用する思いもある。

少子高齢化対策は

問 温泉地域の放課後児童クラブはいつ頃設置の予定か。

町長 全小学校の再編成が終わり次第に設置したい。

問 24年度以降と理解しているのか。

町長 そのとおりである。

る。

問 不妊治療費と出産祝い金を町単独で助成してはどうか。

町長 無理である。

問 発達障害児は一人一人にきめ細かな支援が必要だ。職員の増員を図るべきだ。

町長 今後の課題である。

問 最近自殺者が増えてきた。その要因にう

つ病が上げられている。対策を講ずるべきだ。

町長 早期発見に努める。

問 安心して暮らせる町づくりのため認知症対策が重要だ。

町長 心のケア相談は行っている。

問 国の相談室に財源措置があるので充実すべきである。

町長 精査し対応する。



跡地の利活用について協議中の旧居組小学校

問 ドクターヘリ導入

町長 町民の願いは浜坂病院の医師確保



中井 次郎 議員

問 ドクターヘリに加え、ドクターカーが導入されようとしている。ドクターヘリの運行により、多くの命が助かり、その成果は出ている。しかし、ヘリコプターの着陸場所である、八田小学校などでは着陸・離陸時に起る砂塵により半日も掃除に時間を費やし、授業に支障をきたしたというような事態が生じている。町当局はどのような状況を認識しているか。

町長 そのような状況については認識している。離発着場の予定地との早い時期からの打ち合わせができていなかった。それが原因である。

問 ドクターヘリ、ド

クターカーの導入により、町民の願いである、浜坂病院における24時間対応の救急医療体制に対する取り組みが遅れてしまうのではと心配する。さらなる医師の確保についての姿勢は。



成果はでていますが離発着に支障をきたしているドクターヘリ

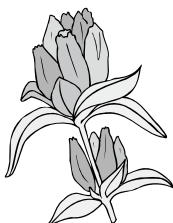
町長 住民の願いは24時間365日対応であると考えます。2次救急、3次救急については初動対応ができるため引き続き医師確保に努めます。

シルバー人材センターの人身事故について

問 7月31日に起きた、シルバー人材センター会員の死亡事故は町内に大きな衝撃を与えており、その安全面に対する取り組みが検証されなければなりません。町行政とシルバー人材センターとの関係は財政援助と安全を含め活動に対する指導である。事故が起きてからどのような指導をされたか。

町長 理事長などと会

問 シルバー人材センターには「みんなで守ろう10カ条。安全従業の心得基準」がある。指導をより強めることを求める。



一般質問

問

農林水産の問題点について

町長 可能な支援はする

鳥獣被害について

問 農林水産における身近な問題点を伺う。今、深刻な問題になっている鳥獣被害、国の支援を受け対策協議会を立ち上げているが、その効果は。

町長 想像以上に被害は大きく、減少させるべく努力したい。また、又捕獲策について希望等があれば対応し

たい。

課長 国の支援を受け三年間のソフト事業で対応している。

問 捕獲班に対しての報償費は他市町と比較し安くないか。

課長 近隣市町の動向も踏まえ決めている。

過疎化の進む集落について

問 若者が定住できる環境(減税措置を含む)に町独自の施策が必要と思うが。

町長 横断的な対応が必要で、単品での決定打は見当たらない。

水産、加工について

問 水揚げ日本一を誇る松葉ガニ、ホテルイ力を活用した、新商品作り等、又一年間通して安定的に誘客出来るシステム作りが必要と思うが。

町長 町としては漁協等と連携を密にしながら対応を強化していきたい。

林業関係について

問 最近、古木のナラの木が枯れている。対策を考えているのか。

町長 今後、研究機関や、県あるいは鳥取県等々情報を密にしながら対応していきたい。

問 山間地域に入ると

植林地はもとより集落近くまで侵入竹が繁茂し色々と弊害が生じている、町としての対応は。

町長 現状を把握して対応していきたい。



植田 光隆 議員



深刻な被害がでている鳥獣対策は？



問 景気対策を問う

町長 町民が輝いて生活できるように努力



西村 銀三 議員

問 9月1日の神戸新聞に、自殺率が県下で一番高いと公表された。新温泉町のスローガンは、「海・山・温泉 人が輝く夢と温もりの町」となっている。実態とスローガンをどうとらえているか。また、生活保護家庭や、町民所得はどのように推移しているか。実態とスローガンをどうとらえているか。

町長 現実とスローガンとかなり乖離があると言わざるを得ない。町民が本当に輝いて生活できるように努力したい。生活保護家庭は63世帯93人であり増えている。21年度町民総所得は163億円で18年と比べて約20億円、11%減った。

問 わが町の事業所で赤字は何割か。また、法人町民税の推移はどうか。

町長 赤字の事業所の数は把握していないが、収益面では8割の事業所が前年を下回っている。法人の数は310社から300社と減った。その内、法人税を納めている法人数は約3割から1割ぐらいに減っている。

問 わが町の入札参加申請に当たっては、豊岡税務署、県税事務所、豊岡法務局、新温泉町役場と4ヶ所、4種類の証明書が必要だ。町の入札だから、町民税だけの証明書があればよいのでは。地方分権の時代であり、町民をいじめるようなやり方を見直すべきだ。また、町民には、町民税など

を滞納していることを理由に、滞納者には入札に参加させない。その一方で、町外の町税を納めていない業者には入札をさせている。これで良いのか。

町長 入札申請事業者は2年に1回審査しているが、町内業者は、さらにその都度町税の納税状況も確認している。議員の言われるとおり、不整合の面もある。また、入札参加申請がなく、随意契約で毎年発注している実態もある。町内業者3社、町外で2社ある。

問 多額の補助金を出している観光協会などの団体の消費は大半が町外となっているようだが、地元購入を指導できないか。

町長 基本的に別個の団体であるが、どのような指導ができるか検討したい。

問 神戸と但馬を分断

する関所となっている遠坂トンネルと播但自動車道の無料化を働きかけ、新温泉町に観光客がどんどん来るようにすべきだ。

町長 舞鶴自動車道は無料化となり観光客が流れている。指摘の道路は県が運営しており、今後無料化を訴えていく。

問 高校の学区制度が問題となっている。実

態として高校は義務教育化しており、全員入学が基本だ。また、毎年40数名が他地区の高校に進学しており、実質的に学区制度は崩壊している。現状をみため、子供たちが地元の学校に行きたくなるような教育の質の向上をめざすべきでは。

町長 分かりました。そのように努力する。



地元活性化のためのプレミアム商品券の購入風景

問

検診の環境づくりを考えよ

町長 現場対応の改善に努める

浜坂地域の検診場所の変更は

かった。スムーズな対応を県へ申し入れた。今後よりよい対応を期待している。

問 温泉地域については大変な時間がかかったと聞く。行政の指導アドバイス等はなかったのか。検診される方々の環境づくりを行政は考えるべき。

町長 職員の現場対応のまずさだと思う。そのようなことのないよう努めていく。

米の消費拡大について

町長 浜坂地域は不都合があれば検討する。

問 主食用の米の消費拡大と食料自給率を上げる起爆剤はどのよう

課長 県の厚生健康財団に委託している。医師が高齢で時間がか

に考えているのか。又放棄田を増やさないための対策は。農林水産省も生産者のため前向きな対応手段で食料自給率と起爆剤につながることを求めると言っている。

町長 平成17年度新温泉町力ロリーベース81%。米粉パンが起爆

剤になるのか。給食センター再編は将来的にあり得るかもわからないが、現段階ではどうか。放棄田再生の材料は今考えがない。

教育長 学校給食はごはんが主であり、パンでなくても自給率につながる。



スムーズな対応が期待されるまちぐるみ検診

野生動物対策と河川整備について

問 今年はイノシシの出没が非常に多いと思う又大被害だ。国の事業仕分けで交付金が減額された。町独自の補助対策を考えるべき。

又河川の木、草などの除木など対策を求め。イノシシの巣、サギの巣になつている。農家の苦労を考慮すべき。県土木との連携を密にし取り組むべし。

町長 指摘のとおり大変な被害状況だ。一定の施策の展開と捕獲おりも使用していただき鋭意努力している。

課長 耕作放棄地との関連は消費者が米を食べていただくことにより自給率は上がる。又米自体が流通することで耕作放棄地の解消につながる。高齢化のなかで消費が低くなつて困難である。

策への対応はしていく。



西村 公子 議員

問 災害に強い町づくりを

町長 避難訓練を鋭意取り組む



宮本 泰男 議員

問 町内河川の本支流はヨシ・アシ雑木が堤防の高さに繁茂している。整備管理は県にあるというが、万一水害が起これば町長は責任をどう思うか。

町長 直接的な責任につながらない。しかし県には防災対応を迫る要請はする。

防災訓練の検証

問 対象地域が分散されている。大地震・大洪水想定の実施が必要と思うが、その計画は。

町長 小規模・大規模訓練対応が基本であり必要である。

問 自主防災会組織の実態は。

課長 組織体数は78ある。

問 訓練はいざ水害時に役立つか。過去3カ年の訓練は大地震発生と、火災発生の訓練であった。水害防災訓練はしていない。また職員用防災マニュアルはあるか（教育・配属・臨戦態勢）

町長 職員対応マニュアルはある。

問 佐用町を訪問し甚大な水害被害実態と検証を拝聴して来た。

- ・避難命令が遅れた
 - ・災害対策本部の立ち上げが2時間遅れた。
 - ・職員が本部・配属先に出向けなかった。
 - ・その本部が機能しなかった。
 - ・通信網のダウン、パソコンの不稼働。
- 現在、実態検証中だが本町の防災計画の参考にすることを町長に進

言する。

町長 本部の立ち上げ、職員適正配置マニュアルはある。的確に対応する。地域防災力の強化に全力をあげてつとめる。

急傾斜地区の防災計画について

問 土砂崩れ危険予知伝達、避難誘導等のマニュアルはあるか。

課長 有事に役立つハザードマップを全戸に配布した。土砂災害の起り易いタイミングの第1・第2警戒態勢、注意喚起、避難等は県からの連絡の仕組

- がある。また雨量計8箇所、水位計5箇所を設置し状況把握や危険を知らせる体制を取っている。
- 問** 災害時の要援護者名簿は、何人か。
- 課長** 1, 3 4 3人の登録がある。



防災訓練

問 町民の生命・財産を守るのは町長の責任である。災害時には防災計画、マニュアル、マップ等の書き物や活字は間に合わない。平常時の防災訓練、地元消防団活動、自主防災組織強化、災害時要援護者の扶助、民生委員・

自治会役員等の人と人の絆で地域防災力を高め命を守ろう。

町長 住民の冷静な早期な避難が必要である。行政は避難の指示、避難の情報、災害情報を密接に流し対応する。

護者の扶助、民生委員・

一般質問



谷口 功 議員

問 就任1年目の自己評価を

町長 誠心誠意努力してきた

問 町長就任1年目の最後の定例議会であり、自己評価を伺いたい。

町長 できるだけ選挙で公約したものに誠心誠意努力してきた。

問 町長は、さまざまな行事や出張などに追われ、腰を据えて政策課題や行政執行について考えるゆとりがないのではないか。

町長 医師確保と地域医療再生、温泉地域の小学校再編成問題、浜坂地域のブロードバンド対応の三つを年度当

初の主要課題と位置付け職員に訓示、それなりの前進をしている。

地場産業・中小企業 支援強化を

問 長期不況に円高が追い打ちをかけている。地場産業・中小零細企業への支援の強化が求められている。そのため現状を正確に把握する必要があり、職員が町の中へ出て直接住民の声を聞くべきだ。

町長 ご指摘のように現状分析が第一ステップで、総合的な現状分析を行いたい。また、環境、地域資源や自然を原点として光を当て、今あるものをよりよくし、さらに活性化につなげていきたい。

JR 餘部橋梁の完成を 活性化に生かそう

問 餘部橋梁の完成で町が活性化するというほど甘いものではないが、このチャンスを生かす工夫が必要だ。そのためにもダイヤの復旧と電化促進の強化が求められる。

町長 難しい面があるが引き続き努力する。

問 来年浜坂駅開設100周年記念事業を予定しているが、住民の知恵や意見を聞いて行うべきだ。

町長 いろんな人の意見を聞いて集約し、元気の出る記念事業の予算化を行いたい。

ドクターヘリ・ドクターカーと浜坂病院の関係は

問 私たち町民はある日突然ドクターヘリが飛んで来たという印象があるが、この事業は

いつ、どこで、どのように決定されたのか。

町長 仔細はわからないが19年3月に兵庫・京都・鳥取の知事会議で相談されたようだ。その後、21年10月に公立豊岡病院運行調整委員会が設置され進められた。

問 ドクターカーとはどういうものか。

町長 一般車両にサイレン、赤色回転灯をつけた緊急走行車両で、医師・看護師1名ずつが乗車して40キロ圏、60分以内を出動範囲とし、各町の救急車とドッキングポイントを設定しておき、そこへ向けて互いに走り救急車内で治療を行うものだ。

問 ドクターカーはドクターヘリを補完するものであり、朝8時から日没前30分までの間の運行だとされている。ドクターカーはこれを補完するものであ

るから当然夜間は走らないものですね。

町長 そのとおりです。**問** ドクターヘリ、ドクターカーいずれも県境を越えてなされる事業であり、当然予算も運行も国・県の責任でなされるべき事業ではないか。



浜坂駅開設100周年記念事業が予定されている浜坂駅

22年度
一般会計補正予算

質疑

- 問** ドクターカーの議会への説明は。
- 答** 豊岡病院組合へ補正予算をしている。
- 問** 法令・協定がないに出せるのか。
- 答** 企業会計なので出せる。
- 問** 付き合いの無駄使いではないか。
- 答** ドクターヘリの足らざるを補うもの。
- 問** 組合議会は議決したのか。
- 答** 予算計上をしていない。
- 問** 組合議会も補正をあげるべきだ。
- 答** 公営企業会計では必ずあげるとなっていない。
- 問** ドクターカーは365日24時間運行するのか。
- 答** その体制ではない。

問 最終的には目指すとの説明だったが。

答 現在9名の医師が担当しているが、365日体制には30名が必要となる。

問 将来、但馬の医療体制が豊岡に一極集中される不安がある。浜坂病院の充実を意識すると深入りすべきではない。

答 浜坂病院の24時間

問 将来、但馬の医療体制が豊岡に一極集中される不安がある。浜坂病院の充実を意識すると深入りすべきではない。

答 浜坂病院の24時間

365日体制は忘れていない。

問 利用者数をみると鳥取方面への対策をしてはどうか。

答 鳥取とは協定を結んでいる。

問 この時期の人事異動の根拠は。

答 欠員や産休があり、事務量を把握しての配置である。

問 人口減が激しく、

問 この時期の人事異動の根拠は。

答 欠員や産休があり、事務量を把握しての配置である。

問 人口減が激しく、

修正案賛成討論

谷口 功議員

補正予算案から、ドクターカー運行のための経費105万4千円を削除する修正案に賛成の立場で討論する。

ドクターヘリは天気の良い昼間に運航され、ドクターカーはヘリが飛べない時に出動するもの。県内で唯一、県立

病院がない但馬地域にあつて、なぜ、この地域住民だけが負担をしなければならぬのか。

ドクターカーが導入となれば、小規模病院の医師・看護師の確保は一層困難になることが予測される。

以上の理由により修正案の賛成討論とする。

一年で約200人減少しているが対策は考えているのか。

答 歯止めをかけるべく全課をあげて政策を考えたい。



請 願 書

人 事 同 意

請願書

請願者

兵庫県立浜坂高等学校PTA
新温泉町連合PTA協議会

趣旨

但馬の北但・南但学区は今でも、それぞれがとて広い学区です。それが但馬一学区になれば、広大な地理的条件のもと、交通事情が悪いための通学時間、経済的負担がいつそう重くのしかかってきます。また、一部の高校に生徒が集っていき、一層の高校間格差が拡大されることが予想されます。自由選択により学校を選ぶ範囲が広がるどころか、逆に地域の高校に進めない生徒が多数出てくる可能性があります。さらに、高校統廃合がいつそう推進されていくことが予想されます。

こうした実情を踏まえ、「地域に根ざした地元の高校へ地域の生徒が進みやすい現行の入試制度（北但・南但学区と連携方式）の維持」を求め、請願致します。

請願者

但馬の高校を守る会
高教組浜坂高校分会

趣旨

現在の但馬地域では実情に合わせて、北但・南但の2学区制と連携方式が定着していますが、もし一学区になれば、遠距離通学を強いられる経済負担が大きく増大することになり、なにより生徒が地元の高校へ行けなくなる事態が生じます。

県教委は「学校が選べる」ことを強調していますが、実質的に学校を希望通り選べる生徒は以上に少なくなります。そして従来より根付いてきた、地元進学を保証する「連携校方式」がくずされ、進学希望生徒が少なくなつた高校は統廃合され、但馬の地から地域の高校がなくなる心配があります。

私たちは、浜坂高校だけでなく但馬の現在ある高校すべてが存続されることを望みます。

請願事項

- 1 北但・南但の学区を統合しないこと。
- 2 連携校方式を堅持すること。

請願者

浜坂観光協会

趣旨

但馬地方は兵庫県の最北端に位置しており、今回の舞鶴若狭自動車道の無料化により夏の海などアウトドア活動が活発な時期にも係わらず当地の海山の観光交流人口の激減の大きな要因となっているのが現状です。

特に世界ジオパーク認定も間近になり、日本のみならず世界も注目していることが想定される中、一定の期間無料化等にする中で但馬地方の観光交流人口増が期待され、観光過疎の解消につながるものと思います。

以上の理由により関係機関に働きかけて頂きますよう強く要望致します。

請願事項

播但連絡道料の無料化

教育委員人事同意

住所 美方郡新温泉町飯野

氏名 中井 功

任期 平成26年11月28日

総務教育常任委員会

9月10日開会



完成間近かの用土ふれあいセンター

総務課

協議事項

- ①健全化判断及び資金不足比率の報告
- ②新温泉町集会施設条例の一部改正

内容 用土ふれあいセンターを加えるもの。

- ③新温泉町非常勤の嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

内容 従来の条例に湯

財産区管理員を加えるもの。

- ④公の施設に係る指定管理者の指定について

内容 用土ふれあいセンターの管理業務を用土区とし、指定管理者にするもの。

- ⑤H22年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）
- 以上5議案委員会は了承した。

企画課

報告事項

- ①ケーブルテレビ事業（温泉地域）について
- ②プロードバンドの整備事業について

協議事項

- ①H22年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）
- 委員会は了承

税務課

報告事項

- ①H22年度町税等の賦課状況について
- ②H22年度町税等の徴収実績について

協議事項

- ①H22年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）
- 委員会は了承

学校教育課

報告事項

- ①22年度の工事発注状況

社会教育課

報告事項

- ①夢ホールの使用状況
- ②ビーチバレー大会

協議事項

- ①H22年度新温泉町一般会計補正予算（第2号）
- 委員会は了承



「夢千代日記」特別公演のパンフレット
東京 10月・12月 大阪 来年2月

産業建設常任委員会

9月15日開会

農林水産課

報告事項

- 戸別所得補償モデル対策加入申請状況
- 第5回新温泉町小牛共進会
- 農林振興補助金要綱改正

問 補助金交付基準を引下げよつての效果は。

答 昨年比20%増を見



増頭対策が望まれる但馬牛

込む。

問 増頭施策の基本及び誘導は。

答 今後飼育農家は減少予想。23年度予算で対策したい。

問 二尾山農地の畜産団地構想はどうか。

答 地権者との調整可能なら検討。

意見 畜産経営の実態調査し効果的振興策を。

○第4次外国人漁業研修生受入事業

問 次年度以降、町のかわりは。

答 基本的に町はかわらない。

問 現在の研修生の受入実態、人数は漁協の要望を満たしているか。

答 現在14名の研修生・実習生がいる。1船に2〜3名が目途。

建設課・産業建設課

報告事項

- 平成22年度工事等発注状況・進捗状況
- 経済危機対策臨時交付金事業進捗状況
- 平成22年8月30日豪雨被災状況
- 町道二日市〜古市線改良用地相続事務

問 共有山の一部相続承諾未了対応は。

答 事業理解は頂いている。身内の相続問題であり立入れない。

問 用地に関し共同相続として承諾は得られないか。

答 相続人1名による契約設定である。困難なら選択肢として可能。

問 本工事着工目途は。

答 全用地取得前提で、H23年度中には着工したい。

問 発注工事は冬季の積雪を考慮し早期発注を。

答 心がけている。災害復旧工事は被災が夏、査定着工は冬季に向かうことが多い。

問 早期発注対応のため職員体制の強化は。

答 即戦力の職員配置をすべきだが専門職員の絶対量が不足している。

商工観光課

報告事項

○観光施設等の利用状況

○商工会合併プレミアム商品券発行について

問 町外資本の大型店は加盟しているか。

答 3店舗中2店舗は未加入と聞いている。

加盟促進を図りたい。

○遊覧船発着場移設

問 移設に関し現業者は高齢だが協力は得られるか。

答 現業者の移設運行を基本に進めたい。

問 香住の遊覧船は熱心さがうかがえ好印象だ。相互乗り入れは。

答 将来他に代替業者がない場合、相互乗り入れも検討を要する。そのためにも発着場整備は必要。

○付託案件

「播但連絡道路無料化に関する請願」

但馬地方の地域活性化を図る起爆剤として本請願を妥当と認め、全会一致で採択すべきとした。

環境福祉常任委員会

9月13日開会



下水処理施設

町民課

問 平成22年9月1日現在、住民基本台帳の人口・世帯等について。

答 合併時から5年間で1,320人減り世帯数で47世帯減少している。住基上で100歳以上の方が11名いる。

問 平成22年4月から浜坂地域においてごみ収集業者が新たになったが問題はないか。

答 順調に推移している。

る。新しい業者は運送業であるので、車の管理も良く出来ている。

問 町指定ごみ袋の形状変更について。

答 従来の指定袋から山なりカットにより運びやすい袋へ検討している。容量的にも従来のものと変らない。

上下水道課

問 汚水処理施設共同整備事業(ミックス)について説明願いたい。

答 ミックス事業は美西浄化センターで行っている汚泥処理施設の地元との設置協定が平成25年3月末期限となっている。ポスト美西浄化センターとして汚泥処理方針とすること、町全域の下水処理施設統合も含め検討する構想の事業である。

問 下水処理施設統合は現実的な検討課題なのか。

答 美西浄化センター

の代替施設が必要であり、町全域の処理施設を適切な維持管理ができるようにする。将来、老朽化する施設の在り方を現時点で検討しておくことも必要である。

福祉課

問 介護保険事業認定と給付状況について。

答 介護保険に関する前年対比は、被保険者は0.79%減、認定者は10.06%増、給付状況は在宅施設と合せて75.29%、給付費においては7.4%増となっている。

問 施設入所待機者は何人ぐらいいるか。

答 待機者は33名です。

健康課

問 平成22年度 新型インフルエンザワクチン接種について。

答 新型インフルエンザは、ほぼ沈静化している。通常の季節性インフルエンザへ移行し、国の方針が出される10月以降の開始となる。優先接種は行われないが、引き続き低所得者への費用の助成措置を行う。

問 ドクターカー導入経緯について。

答 京都・兵庫・鳥取3府県共同でのドクターヘリ事業を補完するための導入検討で平成21年11月19日に但馬広域行政事務組合構成市町長会で合意を得て発足した。

公立浜坂病院

問 ドクターカー夜間運行は出来るのか。

答 現在、豊岡病院救命救急センター医師9名で対応しており、夜間対応は困難である。医師増員後は対応は可能である。

公立浜坂病院

問 浜坂病院事業の利用及び経営状況について。

答 外来5.7%、入

院8.1%増となっている。経営収支状況は、前年より実質4,100万円の改善が図られた。

問 整形外科の診療待ち時間の改善と予約診療の導入ができないか。

答 予約診療は時間設定が困難である。

問 医師招聘の状況は。

答 民間会社の医師紹介や多くの方の情報提供を受けたが、常勤医師の確保は困難である。しかし多くの非常勤医師の応援を願っている。

病院内開設診療施設(眼科)について。

問 病院内開設診療施設(眼科)について。

答 11月開業予定である。既存診療機器については使用可能なものは無償貸与、土地、建物についても無償貸与とする。駐車場7台分は有料とする。改造、診療機器購入、トイレ設置等は全て開業医負担としている。

採決一覧・意見書

議会日誌

採決一覧表

| 審査結果 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------------------------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------|-----|------|---|
| | | 西村銀三 | 中井次郎 | 小林俊之 | 西脇明 | 丸山諄二 | 中村経逸 | 谷田一富 | 植田光隆 | 西村公子 | 西村敏弘 | 中井勝 | 谷口功 | 宮本泰男 | 小林一義 | 宮脇諭 | 岡坂峰雄 | |
| 承認 | 健全化判断比率及び資金不足比率の報告 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 可 | 非常勤の嘱託職員の報酬費用弁償に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 否 | 22年度一般会計補正予算(修正案動議) | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | ○ |
| 可 | 22年度一般会計補正予算(原案) | × | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 可 | 21年度一般会計決算 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 可 | 21年度後期高齢者医療特別会計決算 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 可 | 教育委員会委員の任命同意 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 欠 | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

決算特別委員会 (21年度分)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 可 | 21年度一般会計決算 | - | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 可 | 21年度後期高齢者医療特別会計決算 | - | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

○は賛成、×は反対、-は議決権なし(全員賛成議案は省略いたしました)

議会日誌

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------|-----|----------------------------|-----|------------------|-----|----------------------|-----|---------------|-----|-----------|-----|----------------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-----------------------------|-----|----------------|----|---------|----|----------------|----|---------|
| 12日 | 議会運営委員会 | 11日 | 浜坂町商工会・温泉町商工会合併に係る合併契約書調印式 | 10日 | 2010年度コリド121サミット | 8日 | 特別養護老人ホーム「はまさかの里」夏祭り | 5日 | 産業建設常任委員会視察研修 | 31日 | 栃谷バイパス開通式 | 25日 | 七釜温泉「ゆくらく館」5周年記念イベント | 13日 | 議会広報調査特別委員会 | 9日 | 議会広報調査特別委員会 | 1日 | 山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会総会《香美町》 | 28日 | 美方郡広域事務組合議会臨時会 | | | | | | |
| 17日 | 議会運営委員研修会 | 18日 | 総務教育常任委員会 | 20日 | 産業建設常任委員会 | 31日 | 郡町議会議員研修会 | 27日 | 決算特別委員会 | 24日 | 決算特別委員会 | 22日 | 決算特別委員会 | 15日 | 産業建設常任委員会 | 13日 | 環境福祉常任委員会 | 10日 | 総務教育常任委員会 | 8日 | 議員全員協議会 | 7日 | 第34回定例会 | 6日 | 美方郡広域事務組合議会定例会 | 2日 | 議会運営委員会 |





さし絵・木本博明氏

玄関先の環境美化

ボランティアは、国道9号に接した井土の玄関口となる出合交差点内の花壇の維持管理です。一昨年までは井土地区婦人会が昭和60年前後から長年花植え、草取り等やってこられました。この作業を昨年からは私たちが引き継ぎやっています。ボランティア組織を設立し現在17名の会員で毎月1〜2回の作業を続けています。運転手の方が、または歩行者の方が花壇を見ながら少しでも心が和んでくれるかなーと思いつつ作業をしています。

他地域に行き花壇等を見ては「美しく植えてあるな」花の名前は不明だが「美しい花が植えてあるな」等、今まで何も気づかなかったことに関心を持つようになりました。花の名、植え方など毎日が勉強になります。この活動を楽しみ続けていくには、出るときに出て自分の体力等に合わせ出来るだけの作業を行う。その人が培ってきた技術や知識を話し合いながら長く続けていくことが何よりも大切だと思います。

早い時は朝6時から2時間ほど行います。さすがに暑くて空気がきれいで、日中には感じたことのない爽やかな気持ちで作業ができます。頭の中もすっきりしています。「この花はどこに植えようか」「前がよいのか後かなー」といった意見交換も有意義に行われます。場所が交差点の中なので、事故等のないようお互い気をつけて作業を重ねています。ただ、一部の人でしょうか、花壇の中に物を捨てないでほしいと願っています。最後に井土地区婦人会の皆さん本当に長い間ご苦労様でした。今後は私たちが精いっぱい頑張ります。会員の増、永く続くことを祈りつつ……。



井土ボランティアふれあいの会
代表者 福井武男氏



編集後記

稲刈り・各地区の運動会・祭りと秋の行事は終わったことでしょう。秋を満喫されたと思います。

今回の議会だよりは、21年度一般会計の決算認定の、審議を中心として編集いたしました。

皆さまの税金が、無駄なく適切に使われたかを審議いたしました。次年度の予算作成に反映されるだろうか注目したいものです。

みんなの広場に多くの方の反響があり、委員一同喜んでおります。ページ数が限定されており全てを掲載できません。ご了承ください。

健康であることが最大の喜びです。みなさんと紅葉をたのしみたいものです。

| | |
|-------------|---------------------------|
| 議会広報調査特別委員会 | |
| 委員長 | 西村敏弘 |
| 副委員長 | 中村経逸 |
| 委員 | 小林俊之 富田一 宮本泰 宮脇論 |

発行者 議長 岡坂峰雄